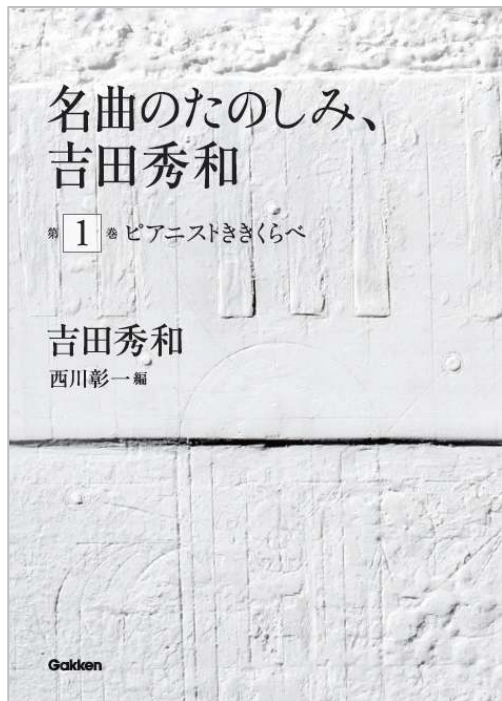


CD付書籍

## 名曲のたのしみ、吉田秀和

## 第1巻 ピアニストききくらべ

吉田秀和／西川彰一（編）



日本の音楽評論の草分けとしてクラシック音楽界に大きな足跡を残した吉田秀和の逝去から1年。吉田が1971年の放送開始から40年以上にわたってパーソナリティを務めてきたNHK-FMの長寿番組「名曲のたのしみ」の書籍化が決定。編纂を手がけたのは、長年ディレクター、チーフ・プロデューサーとして、吉田とともに番組を制作してきた西川彰一。2000回におよぶ放送音源のなかから、人気のコーナー、「私の試聴室」（毎月最終放送日に設定されていた）を中心にジャンル別にセレクト。全5巻で構成される。各巻には、放送音源から抜粋した吉田の解説を収録したCDが付属。書籍のタイトルは、リスナーの方々にはおなじみの、吉田によるタイトルコール「名曲のたのしみ、吉田秀和」からとったもの。

● 本体：3,200円（税別） ● 体裁：A5判／352頁／上製／CD1枚  
● ISBNコード：978-4-05-800082-3

2013.5.30 搬入発売

## 第1巻 内容

- 第1章 巨匠たちの思い出 —ルービンシュタイン、ホロヴィッツ、ギーゼキング、ゼルキン、アラウ、ケンプ ほか
- 第2章 ロシア（ソ連）のピアニスト —ユージナ、グリンベルク、ギレリス、リヒテル ほか
- 第3章 ドビュッシーをひいた名人たち —ホルショフスキー、フィルクスニー、ストット ほか
- 第4章 ミケランジェリとグルダ —ミケランジェリ、グルダ
- 第5章 グールドとアルゲリッチ —グールド、アルゲリッチ
- 第6章 10人の代表的名盤 —ポリーニ、アシュケナーズ、シフ、ピリス、ツィメルマン、ブレンデル ほか
- 第7章 吉田が語る日本人ピアニスト —原智恵子、園田高弘、野島稔、内田光子
- 第8章 ピアニストききくらべ —ホフマンvsアルゲリッチ、ギレリスvsホロヴィッツvsハスキル ほか
- 第9章 若い世代への期待 —キーシン、小菅優、ユンディ・リ、ムストネン ほか

● CD収録内容（収録されているのは吉田の解説部分のみで、音楽は含まれません）

ギーゼキングの思い出（1993年）、ミケランジェリの「謝肉祭」（1989年）、グールドの「トッカータ」（1979年） 他

**吉田秀和**（よしだひでかず）音楽評論、随筆、翻訳家。1913年9月23日、東京・日本橋生まれ。東京帝国大学文学部仏文科卒業。戦後まもなく、「モーツァルト」の評論でデビュー、以来日本における本格的な音楽批評の第一人者として、60年以上にわたり活躍を続けた。著作の多くは「吉田秀和全集（全24巻）」にまとめられている。また「子供のための音楽教室」や「20世紀音楽研究所」を設立し、水戸芸術館館長を務めるなど、音楽教育や芸術の普及に携わる実践家としても、多大な足跡を残した。大仏次郎賞、紫綬褒章、NHK放送文化賞、朝日賞、読売文学賞、文化勲章など受賞多数。放送への出演歴も長く、特に「名曲のたのしみ」（NHK-FM）は、41年以上にわたりほぼ一人で解説を担当した。2012年5月22日、鎌倉市の自宅で逝去。

## 今後の発刊予定

- 第2巻 指揮者を語る 6月末予定
- 第3巻 珠玉のソリストたち 8月末予定
- 第4巻 室内楽との対話 9月中旬予定
- 第5巻 モーツァルト～作曲家について 11月中旬予定

5巻ご購入された方には、番組41年間の放送内容（演奏家、楽曲リスト）をまとめた小冊子をプレゼントいたします。表紙カバーについている応募券5枚を官製はがきに貼付してお送りいたします（詳細は書籍のオビをご覧ください）。